

スペイン日本語教師会ニュースレター



スペイン日本語教師会
ニュースレター第7号
2013年3月発行
©スペイン日本語教師会
編集 藤野華子

CONTENTS

I APJE第4回総会

藤野華子

I-2 2012年度プロジェクト報告

まるごと文法解説書

西岡あや

チュウ太ミニ辞書西語翻訳

吉本由江

CEFR勉強会

桜井悦子

2-3 2012年度JFMD支援活動

熊野七絵

3-4 2013年度APJE活動予定 APJEプロジェクト

4-5 APJE研修会ルポ

今村梨沙

柳田瑞紀

二宗美紀

6 APJEへようこそ!

新会員の方からのひとこと

松本幸

Laura Rivas Campos

木村愛美

APJE会員2013

7 2012年度会計報告

2013.02.09

APJE 第4回総会

2013年2月9日(土)、国際交流基金マドリッド日本文化センターでスペイン日本語教師会の第4回総会及び研修会が行われ、47名の会員・非会員が出席した。冒頭では森下敬一郎日本国大使館公使が挨拶に立ち、スペインの人に日本の事をよりよく知ってもらい、日本についての理解を深めてもらうことが両国の関係において非常に大切であることが述べられた。また、今年から来年にかけて慶長遣欧使節団派遣400周年を記念した様々な事業が行われるが、日本語教育の方面からもこの「日本スペイン交流400周年事業」に積極的に参加するように呼びかけられた。

鈴木裕子会長からは、設立からの4年間でスペイン日本語教師会が地にしっかり足をつけて、よりよい日本語教育に向かって一歩ずつ前進してきたこと、そして同じ立場の者同士が悩みを共有できる場として教師会が成長してきたことに対して喜びの言葉が述べられた。

続いて、書記の藤野華子からは、教師会ホームページに関する報告や昨年発行されたニュースレターと第2回シンポジウムの論文集についての報告、そして会計の益子夏実からは2012年度の会計報告が行われた。

また、今回の総会に先立って役員の追加募集がされていたが、立候補をしていた、Nobuo Ignacio López Sako (グラナダ)、Laura Rivas Campos (マドリッド)、大槻岳子 (バルセロナ)、野崎美香 (コルーニャ)の4名の就任が全会一致で決議された。これで現役員の6名(今枝重紀、江崎美保子、大和田道子、加藤さやか、吉本由江、渡辺未知世)に加えてAPJEの役員は10名となった。

2012年度

APJEプロジェクト報告

● 「まるごと文法解説書」

プロジェクト

西岡あや

今年度は2012年4月～6月に「まるごと文法解説書」A2-1、10月～12月にA2-2のJP版、ES版を制作した。執筆は今枝重紀、小島妙子、高橋水無子、藤野華子、野崎美香、西岡あやが行い、A2-2のES版をDaniel Ruiz Martínez、Nobuo Ignacio López Sakoが作成した。オブザーバーは鈴木裕子、熊野七絵、編集はRaquel Pollánが行った。年度内にA2-1を製本、A2-2試用版を完成し、2013年4月以降「まるごと文法解説書」B1を制作予定である。

● リーディングチュウ太web

ミニ辞書スペイン語翻訳

吉本由江

「リーディングチュウ太」webミニ辞書スペイン語訳は、昨年2月APJE研修会での東京国際大学教授川村よし子先生によるご講演を受け、板倉法香、江崎美保子、大石恵、馬場加恵、福居香、吉本由江の間で進められた。José Luis Navarro, Daniel Ruiz, Francisco Barberán, José Antonio Martínez-Olivaにもご協力を頂き、今年1月、日本語学習者に向けた<http://chuta.jp>に日西ミニ辞書が組み込まれた。

CEFR勉強会

桜井悦子

2012年5月22日に始まったCEFR（外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠）勉強会。毎週火曜日の11時から1時間、みんなで（主な参加者はスカイプ組は馬場さん、大石さん、板倉さん、田原さん、マドリッドJF組は鈴木さん、熊野さん、吉本さん、杉山さん、桜井）でこの208ページの本を少しずつ読み進めてきました。そして第22回目にあたる2月26日勉強会で最終章（9章、評価）の最後のページを読み終えました。分かったようで分からない部分、ペンディングにしている不明点等がありますが、和気あいあいとした雰囲気の中で、お互いに自分の経験にひきつけて具体的なコメントをし合って、非常に有意義な会となりました。

2012年度 JFMDによるスペインの 日本語教育支援活動

熊野七絵

JFMD日本語上級専門家

nanae.kumano@fundacionjapon.es

nihongo@fundacionjapon.es

<http://fundacionjapon.es>

国際交流基金マドリッド日本文化センター（以下、JFMD）では、スペインの日本語教育支援として、以下の活動を実施しています。

1. 教師会支援

スペイン日本語教師会（APJE）と協力し、共催の研修会やシンポジウムを開催するなど、教師の情報交換、勉強の機会を設けています。また、JFSに基づいて国際交流基金で制作中の教材『まるごと 日本のことばと文化』（以下、『まるごと』）の副教材として、スペイン人学習者を対象とした文法解説書を教師会に

制作委託し、共同制作するなど、教師会を通じて教師や学習者を支援しています。

2. 日本語教育巡回セミナー

情報や教材が不足しがちな地方の教師への支援として、日本語教育巡回セミナーを開催しています。これまでの開催地は、スペインではバルセロナ、バレンシア、セビージャ、サンティアゴ・デ・コンポステーラ、アリカンテ、マラガ、そのほか拠点のない周辺国ではベルギー、ポルトガル、スイスなどで、年に8-10回ぐらいセミナーを実施しています。このうち数回はAPJEの鈴木会長にも同行していただき、地方の状況を把握することで教師会活動にも生かしてもらっています。これまで、新しいJLPT、JFSやCEFRに基づく『まるごと』と『みんな』を例にした授業の進め方、ゼロからの教え方やコースデザイン、CEFRに基づく試験作成、アニメ・マンガの活用などに関するセミナーを行いました。地域で5-6人集まれば開催でき、こんなことに困っている、こんなテーマで話してほしいなど、希望に応じてセミナーをいっしょに考え、実施することができます。

3. 日本語教育ネットワーク会議

ネットワーク会議として、機関ニーズに応じた会議の場を設定しています。今年は東アジア研究学士課程（GRADO）を開講しているマドリッド・アウトノマ大学、バルセロナ・アウトノマ大学、セビージャ大学の日本語担当の先生方に集まっていただき、最新動向や評価の方法などについて情報交換しました。今後、大学語学センターや公立語学学校（EOI）などの会議の場も設けられればと思っています。

4. 日本語教育相談

日本語教育に関する質問や相談をメールや電話、面談などで随時受け付けており、1年で60件ぐらいの相談が寄せられています。対象に応じた教材や参考書の紹介、文法説明に関することから、CEFRのカリキュラ

ム導入、Can-do目標作成、コースデザイン、試験作成、教材開発、研究に関するものまで寄せられる相談はさまざまですが、資料や情報を提供したり、助言したりできますので、熊野まで気軽にご相談いただければと思います。

5. リソースセンター

JFMD図書館には日本語教材、スペイン語で書かれた日本に関する書籍、マンガ・アニメ・J-pop・J-ドラマDVDなどを開架しており、教師・学習者のためのリソースセンターとしての役割を果たしています。教材は現在1500点开架しています。教師には教材の貸し出しサービスも行っており、遠方には郵送貸し出しもしています。学習者への貸し出しは行っていませんが、来館してグループでアニメを見たり、日本語教材を閲覧したり、JLPT前には図書館で勉強したりするなどの形で利用されています。

6. 日本語講座

JFMD自体も学習者への直接支援としてJFS準拠教材『まるごと』を使った日本語講座をCASA ASIAとの共催で開講しています。その他、JLPT体験講座、マンガの日本語講座、旅行会話、上級者向けのB2ビジネス講座などの目的別講座を開講しています。また、文化日本語講座として、日本から講師を招いてマナー講座、書道講座、手漉き和紙講座など日本語とからめた特別講座やワークショップも実施しています。その他、毎月1回日本語会話サロンを無料で実施しており、日本人と日本語学習者が日本語で会話したり、知り合ったりする機会を提供しています。

7. 学習奨励活動

学習者向けの活動として、Salón del Mangaなどのポップカルチャーイベントで、JFが開発したWebサイト「[Web版エリンが挑戦！にほんごできます。](#)」、「[アニメ・マンガの日本語](#)」などを紹介する日本語学習ブースを出展しています。これまで、

バルセロナ、マドリード、ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ、ムルシア、バレンシア、サラゴサなどで年7-8回ブースを出展してきました。アンケートでは、ブース体験で日本語を学びたくなったとの声が多く寄せられており、学習者の掘り起こしの一助となればと思っています。このようなイベントで「アニメ・マンガの日本語入門授業」を実施するなど、専門家が出講することもあります。

8. 中等教育アドボカシー活動

スペインでは現在、初・中等教育で日本語教育は実施されていませんが、日本語導入のための情報収集などを行っています。2013年度は中等教育機関における日本語・日本文化イベント実現から初めてみたいと考えていますので、うちの地域の中学校や高校で希望があるようだという情報があれば、ぜひお寄せください。

9. 日本語能力試験

JFは日本語能力試験（JLPT）を開発、実施しており、スペインでは、バルセロナ・アウトノマ大学、マドリード・アウトノマ大学、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学の3会場で実施されています。2012年の受験者数は863名でした。詳細はスペインの[JLPTサイト](#)をご参照ください。

10. 研修プログラム

JFでは、国内の2つの研修機関で、教師向け、学習者向けの研修事業を実施しています。[日本語国際センター](#)では、海外の日本語教師の教授能力を高め、日本に関する知識を深めるため、日本語教育指導者養成プログラム、日本言語文化研究プログラム、海外日本語教師上級研修、長期・短期の海外日本語教師研修などを実施しています。このうち、上級研修は日本人教師も参加できます。スペインからの応募は年数名ですので、是非ご応募ください。

一方、[関西国際センター](#)では、専門家への日本語教育支援や、海外の日本語学習の継続を奨励するため、

専門日本語研修、日本語学習者訪日研修を行っています。専門日本語研修のうち、文化・学術専門家日本語研修は公募なので、日本研究をテーマにしている学生などにも是非声をかけてください。また、JFの研修は敷居が高いと思われるようですが、日本語授業と文化体験や旅行なども含めた2-4週間程度の研修など要望に合わせた受託研修も実施しています。個人応募はできませんが、機関あるいは教師会のような組織で人数がまとまれば、研修を依頼することができますので、気軽にお問い合わせください。

11. 助成プログラム

JFでは、海外日本語教育支援のための各種助成を行っています。拠点のない国への日本語普及活動助成のほか、知的交流分野でも日本研究者フェロシップ、翻訳出版助成など日本語に関連する助成プログラムがあり、毎年12月1日が締切です。そのほか、JFMDの小額助成もあります。こちらは随時受け付けていますので、日本語教育関連のイベント実施や教材作成などの機会にご活用ください。（詳細は[こちら](#)参照）

12. スペインの日本語教育情報収集、提供

3年に一度行われる日本語教育機関調査をはじめとして、スペインの日本語教育事情の調査や情報収集を行っています。JFMDの[ホームページ](#)にスペインの日本語教育情報について、まとめて掲載しています。また、機関調査に協力した機関の情報は「[海外日本語教育機関検索](#)」を通じて調べることができます。その他、毎年「[日本語教育国・地域別情報](#)」や「[世界の日本語教育の現場から](#)」の情報を更新し、スペインの日本語教育事情について情報を提供しています。

以上、JFMDによるスペインの日本語教育支援活動についてご報告しました。今後ともスペインの日本語教育が益々発展するよう、APJEと二

人三脚でサポートしていきたいと思っています。日本語教育に関することなら、どんなことでもいつでもお気軽にお声がけください。

2013年度 APJE活動予定

3月研修会

Good writingについて考える：
プロンプトと評価

3月15日(金) 10:00~13:00

講師：田中真理（名古屋外国語大学）

4月研修会

日本語教師のための日本文化
マナー講座

4月20日(土) 14:30~18:30

講師：貴志栄子（スペイン生け花協会副会長・マドリード日本人会総務部長）

プロトコル、茶道、生け花、書道、着付け

第14回研修会

ドラマチック日本語

コミュニケーション（仮題）

7月第2週

講師：平田オリザ（劇作家・大阪大学）

9月AJEシンポジウム

第17回ヨーロッパ日本語教育
シンポジウム マドリード大会

9月5日(木)~7日(土)

テーマ：—今、見直そう。日本語教育における評価—

招聘講師：當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校）、Michelle Crick（コンプルテンセ大学）

3日間にわたって、講演、研究発表、実践報告、パネル発表等が行われます。発表の申し込みは4月10日まで受け付けられています。詳しくは[ヨーロッパ日本語教師会ホームページ](#)をご覧ください。



尚、本シンポジウムは日本スペイン交流400周年事業として認定され、現在APJE会員30名が実行委員として準備を進めています。

🎧 第15回研修会

テーマ：未定

10月19日(土)

講師：新日本語上級専門家

40枚の写真のキャッチコピーをスペイン語訳するもの。スペイン全国12の機関から応募があり、200名以上の学習者が参加することになりました。

リーダー：高橋水無子 (Santiago de Compostela大学語学センター)、俵加奈子 (Barnahouse)

2013.02.09

APJE 研修会ルポ

今回の研修会では「コースデザインをしてみよう!」をテーマに3つのワークショップが行われました。

ワークショップ1 コース目標

今村梨沙 (レオン大学)

今回の総会、研修会の会場に入って、まず新鮮だったのは座席の並びでした。今までは、個別の机付き椅子が並んでいたのが、今回は4~5人掛けのテーブルがいくつか設置されており、同じテーブルにいたのは同じ種類の機関で働く日本語教師の先生方でした。この配席は、共通するクラスでの悩みや疑問点などを相談したり、意見交換したりするのにいいなと思っていたら、ワークショップが始まって納得。この配席はこのワークショップのためのものだったようです。

まず、ワークショップ1の前半では、担当の野崎先生がコースデザインについての話をしてくださいました。コースデザインと突然言われても、何のことやら漠然としかイメージできなかった私には、ウォーミン

グアップ活動の日本の友人が遊びにきたときの旅程決めや、登山を例に挙げての目標設定の話など、分かりやすい説明が多く良かったと思います。

コースデザイン、コース目標の説明の後には、活動タスクのサンプルの用紙が各テーブルに配られ、実際に例を見ながらコース目標の立て方について解説がありました。そしてその後、異なったテーマの活動タスクが各グループに配布され、グループ活動に移りました。

今回のグループ分けは、教師会参加の先生方を大きく5つのグループ(個人授業の先生、私立語学学校の先生、公的機関の先生、大学の専攻や選択科目を受け持つ先生、大学の語学センターの先生)に分け、そこから再び4、5人の小グループに分けられていました。

各グループが与えられたコース条件を読み、コース目標を考えるとという作業だったのですが、コース目標を立てるために着眼すべき点は、学生のニーズ、レベル、目的、学校側が提示する条件、時間だと、野崎先生がはじめに教えてくださっていたため、活動中もみんな意見が出しやすかったのではないかと思います。

ただし、コース目標というコンセプトにまだ慣れていないこともあったか、どうしても時間配分や各項目の教え方など、コース目標の定義には含まれない議題に踏み込んでしまうこともあり、巡回に来た先生にそれはシラバス作成に踏み込む内容なので、もっと大まかな目標だけを立ててくださいとアドバイスされることもありました。

2013年度 APJEプロジェクト

🎧 「まるごと文法解説書」

「まるごと-日本のことばと文化-」A2-B1の文法解説書の執筆。

リーダー：西岡あや (JFMD)

🎧 APJE勉強会

毎週火曜日11:00-12:00

2013年4月2日より新スタート。

「JF日本語教育スタンダード試行版」(jfstandard.jp/summary/ja/render.do#docs)を読んで行きます。地方からもskype参加できますので、apje.info@gmail.com にskype名をご連絡ください。

リーダー：桜井悦子 (Casa Asia)

🎧 日西400周年東日本再生 ビジョン展キャッチコピー 翻訳

日西観光協会主催の東日本再生ビジョン展「グラシアス・エスパーニャ アニモ・ハボン」で展示される

今回のワークショップのテーマは、今までは漠然としたイメージしかなかったり、何となく避けてきた私のような先生方もいらっしやっただかもしれませんが、野崎先生の分かりやすく面白い説明と同じグループの先生方のおかげで、今回は楽しく興味深くコースデザインについて学ぶことができたように思います。

この度、ワークショップを企画してくださったAPJE実行委員会の皆様、担当してくださった野崎先生、加藤先生、高森先生、熊野先生、どうもありがとうございました。

ワークショップ2 シラバス作成

柳田瑞紀 (アリカンテ大学)

ワークショップ2では各グループがワークショップ1で立てたコース目標に基づいたコースシラバス作成をしました。

まず、コース目標に基づきより具体化された課の学習目標 (Can-do) とテーマ設定を行い、次に各課で必要とされる文型・表現・語彙などの学習項目を書き出し教室活動を考える。最後に課の提出順序、時間数、コース全体の流れの調整を行う。重要なポイントとして、「現実の流れに沿うようにすること」そして「やっていて楽しい活動を考えること」がありました。

この加藤先生が説明してくださった3ステップとポイントに基づきシラバス作成を行ったのですが、どのグループも皆真剣にそして楽しそうで、時間が足りないと思われるほど会場は盛り上がっていました。

私も今までシラバス作成をしたことがあったのですが、漠然としていたやり方がこのようにステップを踏んで行っていくことではっきりと再確認することができ、またグループワークだったので、他の先生方のさまざまなアイデアに「なるほどなあ」と感じることもあり、とてもためになる有意義な時間でした。

ワークショップ3 評価

二宗美紀 (バスク大学)

ワークショップ3では、まず、高森先生より評価の必要性と可能性について説明がありました。評価をすることにより、学生は「できた」のか「まだできていない」のかを判断することになり、「まだできていない」場合、学生自身が次に向けて新たな目標を設定するきっかけになる、また一方で、教師にとっても、コースデザイン遂行の度合、コース目標やコースシラバスと評価の関連性やコース全体を見直す判断材料になるということでした。

そして、「1. 何を」「2. いつ」「3. だれが」「4. どのように (方法+使用言語)」評価するのかについて、評価シートを参照しながら評価の種類や手法を具体的に説明してくださいました。印象的だったのが、評価の種類を決定する際になぜこの評価方法かという、評価方法を自己点検する欄が設けられていたことです。

その後、各グループが設定したコース目標 (ワークショップ1での活動)、コースシラバス (ワークショップ2での活動) を振り返りながら、実践したタスク活動に適合した評価の種類や手法について、評価シートを用いてグループ内で検討しました。

コースデザインポスター発表

ポスターセッションは、各グループが実践したタスク活動内容を記したものとワークショップでの成果 (具体的には、コース目標、コースシラバス、評価シート) を壁に貼るのではなく机上に置いて行われました。2つのセッションが設けられ、ブースで説明や報告をする機会と、他のグループのポスターを閲覧する機会の両方があり、各ブースで意見交換や質問などが盛んに行われました。

最後に、熊野先生により今回のワークショップ全体のまとめと振り返りが行われました。他のグループの成果に関して、また自分のグループ活動を振り返って、様々な意見が述べられました。特に最後の評価に関する活動では、学習目標や教室活動との関連性を検証するために、ワークショップ1・2で立てたコース目標とコースシラバスを再確認する必要があり、これまで設定してきた計画を振り返ることの重要性も体験できたと思います。

普段は限られた時間の中、教師が一人でコースデザインを設計することが多く、今回のように、大学の日本語学科として、大学の外国語科目の1つとして、公立の語学センター、私立の語学センターや個人レッスン、といった日本語を教える環境が同じあるいは類似した先生方同士がグループになり、話し合いを交えてコースデザインに関するワークショップが進められたことは貴重でした。そして、生徒のレベルやニーズにあったテーマについて、より実践に近い形で取り組むことができ、CEFRの記述や現状と比較したり、経験豊富な先生方のお話やアドバイスをいただくなど、コースデザインへの理解が深まった一日でした。





APJEへようこそ！

新会員の方からのひとこと

マドリード

松本幸

「学生会員」として教師会に参加させていただくことになりました。2月9日の総会・研修会では、スペイン全土で活躍されている、大変魅力的な先生方から、たくさんの貴重なお話を伺うことができ、充実した時間を過ごすことができました。お話を伺えただけでも入会させていただいてよかったと思う一日でした。研修会などを通じてたくさんのことを学ばせていただきたいと思っております。どうぞよろしくおねがいいたします。

先日の総会では、教師会がとても組織立っていて活発に活動している点にとっても感心しました。そしてスペイン日本語教師の皆様の熱意にも圧倒されました。

ここで皆様とお会いできたのも何かの縁。力不足で至らない点も多いかと思いますが、精いっぱい努力したいと思っております。スペイン日本語教師会をこれから一緒に大きく育てていきましょう！

今後ともどうぞよろしくおねがいいたします。

サラマンカ

木村愛美

日本語教師会の研修会では毎回とても充実した内容で、自分の教え方を一から見直すことができる機会だと思っております。先日行われた研修会では、シラバス作りの大切さを知ることができ、それと同時に今まで自分が作っていたシラバスに対し

での反省と改善の必要性を感じた一日でした。また、自分と同じ「個人教授」という立場で日本語を教えている先生方の意見も聞くことができ、大変貴重な体験ができました。

マドリード

Laura Rivas Campos

今回初めてスペイン日本語教師会の研修会に参加させていただいた、リーバス・カンポス・ラウラと申します。

まず、今回の研修会で、最初に感銘を受けたことはスペイン日本語教師会の組織の大きさです。スペイン国内だけでなく、国外にも会員の方が多数いらっしゃることに大変驚きました。また、今回参加するまでは、研修会についてもっとおごそかなイメージを抱いていましたが、実際に参加してみると、会員の皆さんが打ち解けた雰囲気の中で、ワークショップなどのアクティビティに活発に取り組んでいらっしゃる様子が印象的でした。ベテランの先生方のお話もたくさん伺うことができ、まだまだ未熟者の私としては、大変有意義な時間を過ごすことができました。

これからも、教師会の活動には積極的に参加していきたいと思っております。そして、学んだことを今後の日本語のレッスンにいかしていければと思っております。今後ともよろしくおねがいいたします!!

APJE会員 2013

2013年2月現在、スペイン日本語教師会の会員は学生会員9名、一般会員107名、計116名です。地域別の分布は次の通りです。

REGIÓN	人数
Andalucía	12
Aragón	2
Castilla- La Mancha	1
Castilla y León	10
Cataluña	15
Galicia	6
Islas Baleares	1
C. Madrid	43
Murcia	3
País Vasco	4
C. Valenciana	4
日本	8
オランダ	2
スウェーデン	2
トルコ	2
ケニア	1
TOTAL	116



皆様のご協力によって今回のニュースレターはいつもよりも早くできあがりしました。記事を書いてくださった西岡さん、吉本さん、桜井さん、熊野さん、今村さん、柳田さん、二宗さん、松本さん、リバスさん、木村さん、どうもありがとうございました！

(藤野華子)

2012年度会計報告

収入の部 (一般)

年会費	2,715,00 €	(一般1,815€・学生90€)
非会員参加費	85,00 €	(総会・セミナー非会員参加費)
シンポジウム参加費	1,380,00 €	(バルセロナ)
計	3,370,00 €	

支出の部 (一般)

総会 (2月11日)		184,06€
学生補助お礼	30,00€	
講師送迎費	10,00€	
講師お土産代	10,00€	
お弁当代	50,00€	(講師、補助員、来賓)
資料代	45,55 €	(コピー)
お茶代	28,85 €	
文房具	9,66€	
ワークショップ (4月14日)		60,29€
資料代	31,00€	
お茶代	29,29€	
バルセロナ・シンポジウム (6月28・29日)		1225,66€
講師お土産代	21,60€	(2名)
学生補助お礼	90,00€	(3名)
タクシー代	8,00€	
資料代	160,00 €	(コピー)
お茶代	45,97€	
文房具	16,49€	
お弁当代	45,00€	(講師・学生補助員)
ブッフェ	838,60€	
座談会9月7日		
お茶代		18,27€
講演会10月8日		16,98€
講師お土産代	12,10€	
お茶代	4,88€	
セミナー10月27日		43,32€
講師お土産代	12,10€	
講師送迎費	20,00€	
お茶代	5,15€	
資料代	6,07€	
ホームページ・ドメイン維持費		27,14 €
名札・文房具・郵便		45,36€
会議費		47,00€
銀行口座維持費		77,50 €
計		1745,58 €

2011年12月31日 残高 1,333.41€

1,333.41€+収入-支出=500,69€+3,370€- 1745,58 € =2957,83€

2012年12月31日現在